



第 7 号

みどりの

きそ ネット

交流・創造フィールド

長野県
木曽広域連合



勢一二〇人余により当時

ました。

皇女和宮御降嫁行列は総
関係者や田中知事など約三
五〇人が出席して行われ、
山口村、南木曽町、中津川
市の小中学生の歌や宿場
についての学習発表も行わ
れました。

われました。

八日の宿場会議では宿場
は中山道夜明けウオーキン
グと皇女和宮行列（馬籠、
妻籠両宿場内）、島崎藤村
青春グラフィティとして
舞台公演「表白の時／小諸
日記／藤村と冬子」が行
われしました。

八日には中
山道六十九宿
による宿場会
議と馬籠宿夜
の宴、九日に

は中山道夜明けウオーキン
グと皇女和宮行列（馬籠、
妻籠両宿場内）、島崎藤村
青春グラフィティとして
舞台公演「表白の時／小諸
日記／藤村と冬子」が行
われしました。

九月八日
（土）・九日
（日）の二日間
にわたって、
馬籠宿・妻籠
宿において木
曽街道400
年祭りのコア
イベントの一
つである中山
道宿場会議が
開催されまし
た。

■ 主 な 内 容 ■

- ・ ごみ処理、リサイクルについて 2～3
- ・ 平成12年度決算報告 4
- ・ 各種募集のお知らせ 5
- ・ 400年祭り関連イベント情報 6



の華やかな様子が再現され、馬
籠、妻籠の両宿場町は多くの観
光客で賑わいました。



北部クリーンセンター

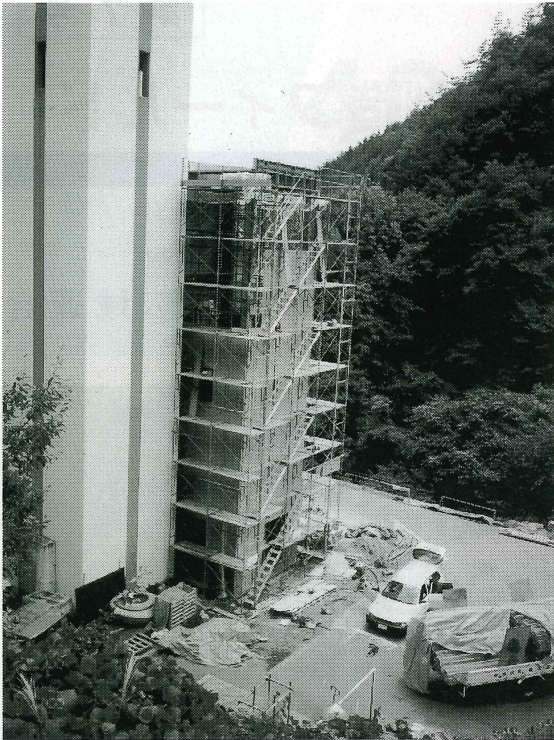
からのお知らせ

北部クリーンセンターでは、ダイオキシン類削減のための対策工事を、平成十二年度から平成十四年度の三ヶ年継続事業として行っています。

工事は、今年五月から一号炉の解体工事を始め、現在、機器の搬入据え付けや建屋の増設工事を行っています。

工事は順調に進んでおり、一号炉は、今年十一月に試運転を開始する予定です。

二号炉は、平成十四年一月中旬から解体工事を始め、平成十四年八月に試運転を開始し、十月には、すべての工事が完成する予定です。



北部クリーンセンターの ダイオキシン類対策工事は 現在、着々と進行しています

この、ダイオキシン類対策工事は、焼却作業を継続しながら工事を行う必要があることから、二炉ある焼却炉の一炉ずつを行い、片方の焼却炉は、時間を延長して焼却作業をしています。しかし、焼却炉の処理量に限界があることや炉の負担を少なくするため、ごみの減量化をお願いしています。

対策工事に併せ、今年四月から、北部七町村でも紙類（新聞、広告、チラシ、雑誌、本、牛乳・ジュースパック、ダンボール、その他古紙）とトレイ・発泡スチロールのリサイクル回収が始まりました。

この結果、可燃ごみの排出量は、今年四月から八月までの四ヶ月間で、去年に比べ四〇〇トン近く減量することができました。

しかし、まだリサイクル品をごみ収集に出される方や、クリーンセンターに直接持ち込まれる方がおられます。リサイクルができるものは各町村が実施するリサイクル回収にお出しく下さい。

また、事業所においては、事業者の排出者責任がありますので、各事業所でリサイクルを推進していただきますようお願いいたします。

工事期間中は、住民のみなさまに大変ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

「ごみ」を、ふたたび「資源」へ

ごみの排出量の60%が「容器」と「包装」です。こうした「容器包装廃棄物」を「資源」へ再生するために、みなさんの協力が必要です。ごみの発生量は、今後更に増加することが予測されています。また、ダイオキシン対策工事に伴い、ごみの減量化が必要となっています。そのためにもごみの再資源化を図り、リサイクルに積極的に取り組みましょう。

みなさまから回収されたリサイクル品は、再生し商品化されています。

飲料用紙パック、段ボール、その他紙製容器包装

再生紙でできたノートやトイレットペーパーを使いましょう。

紙

段ボール、アルミニウムを使用していない飲料用紙パックを除く。

古紙（新聞紙など）

びん

びんや一升びんなどのリターナブルびんは、洗って繰り返し使用できます。また、ワンウェイびんは、細かく砕かれて、びんや断熱材などの原料になります。

断熱材

アルミ缶

缶、自動車のアルミホイールなど。

アルミニウムは軽くて便利な素材です。スチール缶に負けずリサイクル！！

ペットボトル

PET

シャツやカーペットなどに生まれ変わりますが、まだまだ資源化が進んでいません。

プラスチック製容器包装（トレイなど）

トレイ、おもちゃ、植木鉢、ハンガーなど

飲料用・洗剤用ペットボトルを除く。ごみにするとかさばるプラスチック製容器包装のトレイなどからいれるものが再生されます。

スチール缶

建築用の鉄筋など

鉄はリサイクルが進んでいる素材です。アルミニウムとともにもっとリサイクルしましょう。

岐阜県益田広域連合と消防業務相互応援協定締結

平成十三年九月一日より、岐阜県益田広域連合消防本部と木曽広域消防本部の業務の実施について、相互に応援することが協定されました。

今後はお互いの境界付近や、それぞれの管内での火災又は救急事案等について通報・要請等を受けた時は、消防隊又は救急隊及び、救助隊を派遣し応援活動を行います。

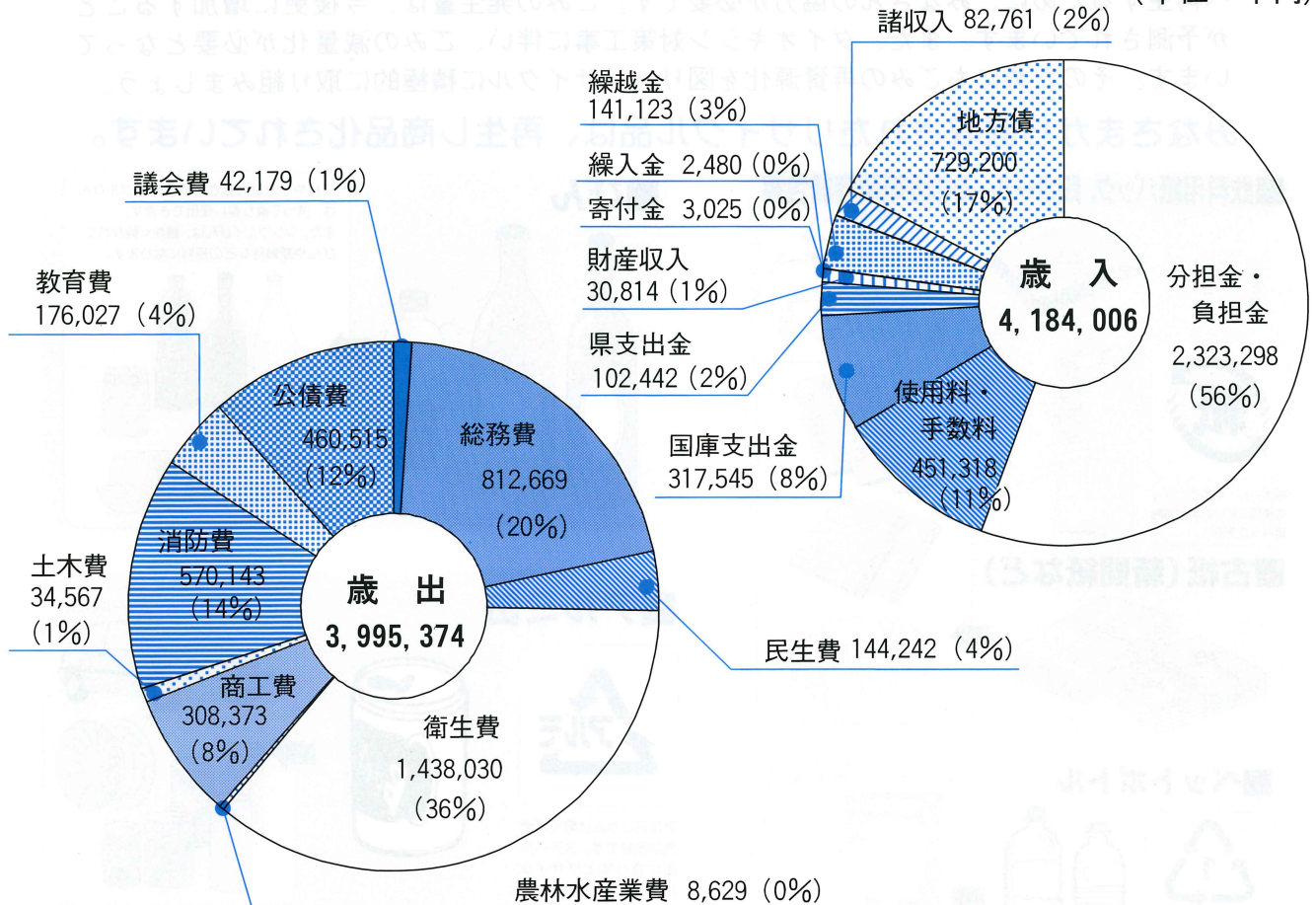


木曽高校文化祭の全校アートにて、牛乳パック一万个による400年イベントのキャラクターや宿場町を制作して頂きました。



平成12年度決算報告

(単位：千円)



臨時的支出における

主な施策

地域情報施設整備事業	…388,600千円
情報通信等連携システム構築事業	…30,970千円
廃棄物処理対策用地関係取得事業	…16,000千円
観光案内施設整備事業	…291,498千円
消防多重無線	…67,698千円
ダイオキシン類等対策事業 (南部クリーンセンター)	…322,245千円
建設改良工事 (汚泥集約センター)	…34,566千円

平成十二年度の木曾広域連合会計決算が、八月に行われた広域連合第三回定例議会にて認定されました。

本年度は一般会計並びに木曾寮、環境センター、北部・南部クリーンセンターの四つの特別会計に加えて、新たに汚泥集約センター特別会計を設置しました。汚泥集約処理については平成十五年度の稼動を目標に施設の整備を進めていきます。

その概要について報告します

一般会計は、歳入十九億五千万円、歳出十九億円で、差引残高五千万円程度となりました。

特別会計は、歳入二十二億三千万円、歳出二十一億円、差引残高一億三千万円程度となりました。内訳は下表のとおりです。

歳入においては全体の約五六%が各町村からの分担金・負担金によるものです。臨時的収入の主なものとしては、情報ネッ

会計別決算概要

(単位：千円)

会 計 別	歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,951,264	1,899,296
特 別 会 計		
木 曾 寮	433,879	406,639
環 境 セ ン タ ー	692,601	671,949
北部クリーンセンター	632,793	549,611
南部クリーンセンター	437,769	433,312
汚 泥 集 約 セ ン タ ー	35,700	34,567
合 計	4,184,006	3,995,374

トワークシステム構築費用の一部として、国から約一億九千四百万円の補助金を受けました。

歳出については、衛生費が三六%、次いで総務費二〇%、消防費一四%となっています。主な施策については左表のとおりです。



平成14年度 奨学資金の貸付け者及び スポーツ振興基金の申請者募集について

奨学資金の貸付け 希望者の募集について

木曾広域連合では、大学・短大・専門学校等へ進学する方を対象に奨学資金事業を行っています。

本年度も平成十四年四月に各学校へ進学を予定している方を対象に希望者を募集します。

貸付けを希望される方は、必要な書類を用意していただき、締め切り日までにお申し込みください。

応募資格

- ・木曾郡内に本籍を有する者で大学・短大・専門学校等へ入学を予定する者
- ・経済的理由により修学に困難があると認められる者

貸付け金額

- ・月額二万円以上五万円以内。

貸付けの決定

- ・卒業後、木曾郡内に居住または就職する意志を有する者を優先し、審査は日本育英会の奨学生推薦基準の規程に準じて行います。

- ・貸付け者の決定は、三月末日までに本人に通知します。

償還方法

- ・償還は卒業の月の六ヶ月後から、貸付けを受けた期間の三倍の期間に六ヶ月を加算した期間内に、月払・半年払・年払のいずれかの方法で償還して頂きます。

・奨学金に利子はつきません。
*申し込みにあたり、提出していただく書類がありますので、郡内の各高等学校または木曾広域連合事務局までご請求ください。

*願書締め切り
平成十四年一月三十一日(木)
当日消印有効

応募及び問い合わせ先は
木曾文化公園
奨学資金担当係
〒三九九一六二〇一
木曾郡日義村四八八―三七
TEL 〇二六四―二三一八〇―二

スポーツ振興基金 申請者募集について

前号でもお知らせしましたが木曾における地域及び社会に有為な人材の育成を目的とし、特にスポーツを通じ地域の活性化に寄与する者及び団体を支援するためにスポーツ振興基金を設立しています。

募集対象

- ・地区大会等の予選を経て、長野県代表として全国大会及び国際大会に出場する小中高生、及び国体又は国際大会に出場する一般の方

応募資格

- ・木曾に本籍を有する者又はこれに準ずる者及び団体
- ・スポーツ活動その他生活の全般を通じて態度・行動が地域の活性化につながり、且つ圏域外との交流に寄与する見込みがある者及び団体

応募方法

支援申請書に必要事項を記入の上、参加する大会要綱等を添付してください。

詳細な募集要項、申請書用紙等は各町村教育委員会及び下記事務局に備えてあります。

募集期間

随時受付け

選考方法

基金審査会による厳正な審査の上、木曾広域連合の正副連合長会で交付決定します。

支援金額

申請に基づき審査会で決定します。

その他

支援金交付決定者は大会終了後、実績報告書を提出して頂きます。

編集部より

木曾広域連合広報誌第七号をお届けします。

今回は特にゴミ、リサイクル関係について特集を組んでみました。身近な問題ですのでこれを機に家庭でも再検討して、限りある資源を有効に活用していきましょう。

今後も広域連合の状況を分かりやすくお知らせしてまいります。記事に関するご意見やご要望をお寄せください。

発行 木曾広域連合

TEL 〇二六四 二三一 〇五〇
FAX 〇二六四 二三一 〇五二
メールアドレス
sounu@kisoj.gr.jp

応募及び問い合わせ先は
木曾広域連合 企画振興課
〒三九九一六二〇一
木曾郡日義村四八八―三七
(木曾文化公園内)

TEL 〇二六四―二三一―〇五〇
FAX 〇二六四―二三一―〇五二

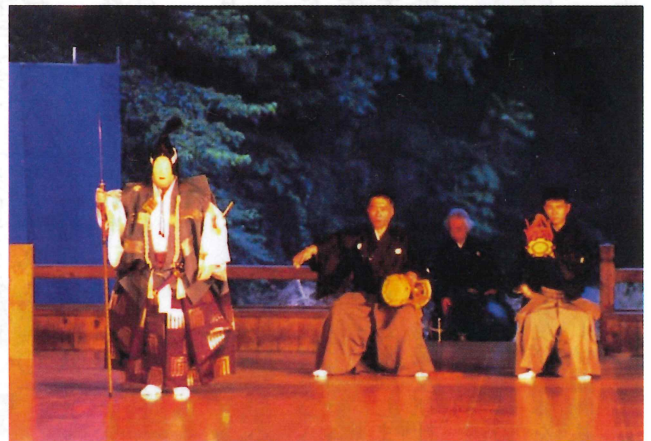
400 年 祭 り 関 連 イ ベ ン ト 情 報

七月二十八日(土)に木曾街道400年祭りの中心となる四つのコアイベントの一つ、「うるしの里新能」が開催されました。会場となった檜川村平沢のうるしの里広場には、能楽界最高峰の演者たちの能や狂言を鑑賞しようと、木曾内外から一、〇〇〇人を超える観客が詰め掛けました。

木曾ゆかりの巴御前の、義仲への深い慕情を表現した能「巴」をはじめ、狂言「附子」、人間の宿業の悲しさを描いた「安達原」の三本が演じられました。演が進むにつれて会場周辺は夕闇に包まれ、舞台は薪の炎に浮かびあがり、より一層幽玄な雰囲気となりました。

またこの公演を記念して協力を頂いた能楽座に「鬘(かづら)桶」が木曾漆器工業組合より寄贈されました。鬘桶は能、狂言における代表的な小道具の一つで、寄贈されたものは檜川村の伝統技術である曲げ物に漆塗りを施したものです。

薪の炎により
浮かびあがった桧舞台で
優美な舞が披露された



イベントスケジュール

11 月		10 月										
23 (金)	11 (日)	28 (日)	21 (日)	20 (土) ・ 21 (日)	13 (土) ・ 14 (日)	7 (日)	6 (土)	6 (土) ・ 7 (日)	3 (水)			
文化文政風俗絵巻之行列〔南木曽町〕 (上松町)	全国木曽ひのきの里ウォーキング大会	木曽川源流秋祭り「収穫祭」(木祖村)	ふるさと馬籠こへー祭り (山口村)	福島関所まつり (木曽福島町)	柿其溪谷とロマンス街道 恋路峠ウォーク(南木曽町)	「米の道」権兵衛峠を歩こう(檜川村) どんぐり祭り (王滝村)	木曾ヒノキ三味線全国コンクール (大桑村)	木曾伝統芸能鑑賞会 (文化ホール)	信州木曽開田高原そば祭り(開田村)	木曾駒高原きのこまつり (日義村)	木曾路食の祭典 (木曽文化公園)	花馬まつり (南木曽町)



7月20日～9月2日の期間、木曾福島町の中部森林管理局森林センターにて「われら森の仲間たち展」が開かれました。期間中、夏休み中の子供たちや家族連れがクワガタなどを見に訪れました。